

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 12 月 10 日 (2020.12.10)

【公開番号】特開 2019-182783 (P2019-182783A)

【公開日】令和 1 年 10 月 24 日 (2019.10.24)

【年通号数】公開・登録公報 2019-043

【出願番号】特願 2018-75331 (P2018-75331)

【国際特許分類】

A 0 1 N 63/27 (2020.01)

A 0 1 P 3/00 (2006.01)

A 0 1 N 25/00 (2006.01)

A 0 1 G 7/06 (2006.01)

A 0 1 G 7/00 (2006.01)

【F I】

A 0 1 N 63/02 F

A 0 1 P 3/00

A 0 1 N 25/00 1 0 2

A 0 1 G 7/06 A

A 0 1 G 7/00 6 0 5 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 10 月 28 日 (2020.10.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

本発明におけるシュードモナス属細菌は、特に限定されないが、植物保護作用を有するものが好適に用いられる。その具体例としては、シュードモナス プロテゲンス (Pseudomonas protegens)、シュードモナス フルオレッセンス (Pseudomonas fluorescens)、シュードモナス シリングエ (Pseudomonas syringae)、シュードモナス クロロラフィス (Pseudomonas chlororaphis)、シュードモナス シンキサント (Pseudomonas synxantha)、シュードモナス ブラシカセアルム (Pseudomonas brassicacearum)、シュードモナス プチダ (Pseudomonas putida)、及びシュードモナス ロデシア (Pseudomonas rhodesiae) 等が挙げられる。また、本発明では、シュードモナス (Pseudomonas) sp. Os 17 株、及びシュードモナス (Pseudomonas) sp. St 29 株も利用することができ、これらの細菌は独立行政法人製品評価技術基盤機構 (National Institute of Technology and Evaluation (NITE)) バイオテクノロジーセンター 特許微生物寄託センター (NPMD) において、それぞれ受託番号 NITE P - 02053 及び受託番号 NITE P - 02054 として寄託されている。好ましくは、シュードモナス プロテゲンス、シュードモナス sp. Os 17 株、及びシュードモナス sp. St 29 株が本発明において使用される。シュードモナス プロテゲンスの細菌株のうち、好ましくはシュードモナス プロテゲンス CHA0 株、及びシュードモナス プロテゲンス Cab 57 株が用いられるが、特にこれらに限定されない。

